

エコアクション 21

環境活動レポート

(平成 29 年度)

運用期間：平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

平成 30 年 6 月 1 日

有限会社 豊原商会

目次

1. 環境方針	2
2. 組織の概要	3~6
3. 環境目標及びその実績	7
4. 環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容	8
5. 環境関連法規等の評価結果及び違反、訴訟等の有無	9
6. 全体の評価と見直しの結果	9

1.環境方針

基本理念

有限会社豊原商会は、自然とのよりよい共存のために地域環境の改善を目指し、主業務である産業廃棄物処理事業の活動を通じて地域環境の保全に積極的に取り組みます。

そのために社員一同が常に環境問題に対して積極的に行動し、次世代に継承できる環境の実現を目指します。

行動指針

環境経営システムを構築・運用し、定期的に見直すことによって、環境保全活動の継続的な改善を図ります。

1. 廃棄物の分別を徹底し、リサイクル率の向上に努めます。
2. 二酸化炭素の排出量の削減に努めます。
3. 節水に取り組み、水使用量の削減に努めます。
4. 環境にやさしい商品などの購入に努めます。
5. 環境方針を全従業員に周知徹底します。
6. 環境関連法規等を遵守し、事業活動を推進します。
7. 地域活動に積極的に取り組みます。

平成 30 年 6 月 1 日 制定
有限会社 豊原商会
代表取締役 豊原幸男

2.組織の概要

(1) 名称及び代表者名

有限会社 豊原商会

代表取締役 豊原 幸男

創業 昭和56年10月1日

(2) 所在地

本社 山口県下関市豊田町大字矢田 471 番地

事務所兼作業場 山口県下関市豊田町大字矢田 470 番地 1 号

作業場 山口県下関市豊田町大字矢田 474 番地 1 号

菊川支店 山口県下関市菊川町大字下岡枝茶屋川 884 番地 3 号

(3) 環境管理責任者及び担当者氏名

環境管理責任者 豊原 幸男

環境管理担当者 豊原 千恵

(4) 連絡先

TEL 083-766-1862 FAX 083-766-0312

E-mail buti@oregano.ocn.ne.jp

(5) 事業の内容

1. 産業廃棄物の収集・運搬
2. 特別管理産業廃棄物の収集・運搬
3. 一般廃棄物の収集・運搬
4. 貨物自動車運送業
5. 自転車部分品の加工

(6) 事業の規模 (2017 年度)

資本金 : 1000 万円

売上高 : 179 百万円

従業員数 : 14 人

建屋床面積 : 358.06 m²

廃棄物取扱量 : 1990.2 t /年 (2017 年度実績)

(7) 当社の事業年度

4 月～3 月

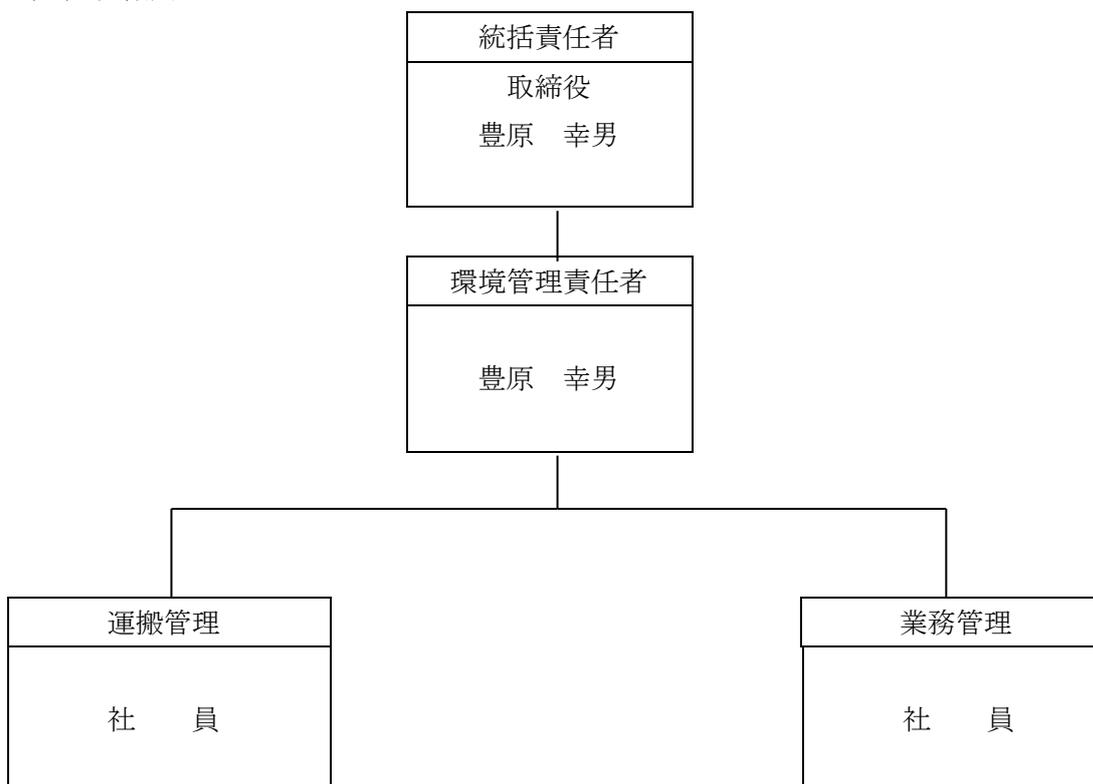
(8) 認証・登録範囲

対象事業者名 : 有限会社 豊原商会

対象事業所 : 全事業所

対象活動 : 全活動

(9) 組織図



氏名	所属・役職	役割・責任・権限・使命
豊原 幸男	代表取締役	全体の総括、環境方針の策定、環境への取り組みの実施、全体の評価と見直し。
豊原 千恵	事務局	社全体の把握、環境経営システムを構築・運用し、その状況を社長に報告する。
豊原 千恵	総務局	電力・水・車燃料・灯油消費量の管理。
豊原 大造	取締役 運搬	廃棄物の廃棄量管理。

(10) 許可の内容

産業廃棄物収集運搬業許可証

山口県 : 第 03500028781 号
許可期間 平成 27 年 2 月 23 日～平成 32 年 2 月 22 日
下関市 : 第 07510028781 号 (積替え又は保管を含む。)
許可期間 平成 27 年 9 月 1 日～平成 32 年 8 月 31 日

特別管理産業廃棄物収集運搬業許可証

山口県 : 第 03550028781 号
許可期間 平成 27 年 10 月 2 日～平成 32 年 10 月 1 日

一般廃棄物収集運搬許可証

下関市 : 第 11045 号
許可期間 平成 29 年 6 月 1 日～平成 31 年 5 月 31 日

廃棄物取扱種類

一般廃棄物 : 可燃物・不燃物・資源物
産業廃棄物 : 廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず (がれき類を除く。)、陶磁器くず (自動車等破砕物を除く。以上 3 種類)、汚泥、廃油、廃アルカリ、木くず、ゴムくず、がれき類 (これらのうち、特別管理産業廃棄物であるものを除く。) 以上 9 種類
特別管理産業廃棄物 : 廃油 (揮発油類、灯油類及び軽油類に限り、特定有害産業廃棄物であるものを除く。)
廃酸 (水素イオン濃度指数 2.0 以下のものに限り、特定有害産業廃棄物であるものを除く。)
廃アルカリ (水素イオン濃度指数 12.5 以上のものに限り、特定有害産業廃棄物であるものを除く。)
廃石綿等 以上 4 種類

保管場所の内容

面積 : 328.65 m²
保管上限 : 405.84 m³
最大高さ : 2.55m
種類 : 廃油、廃プラスチック類、木くず、金属くず、ガラスくず等、がれき類 (これらのうち、特別管理産業廃棄物であるものを除く。) 以上 6 種類

一般貨物自動車運送許可証 : 中国自貨第 428 号

(1 1) 設備の内容

車両 : 塵芥車両 6 台 キャブオーバー車両 5 台
 小型トラック車両 3 台 脱着装置付コンテナ車両 1 台
 フォークリフト 4 台

(1 2) 処理実績 (収集運搬のみ)

単位 : t

年度	一般廃棄物	産業廃棄物
27	2049	16.1
28	2015.2	29.5
29	1971.7	18.5

3.環境目標及びその実績

管理責任者	担当者
	
平成30年5月31日	平成30年5月31日

環境目標	単位	平成28年度	平成29年度			平成30年度	平成31年度	
		(基準年度)	(目標)	(実績)	(達成判定)	目標	目標	
1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	154,365	154,211以下 0.10%	147,850	○	現状維持	現状維持
	a 電力使用量の削減	kWh	36,874	36,838以下 0.10%	36,627	○	現状維持	現状維持
	b 灯油使用量の削減	ℓ	2,393	2,370以下 1.00%	1,484	○	現状維持	現状維持
	c ガソリン使用量の削減	ℓ	843	842以下 0.10%	535	○	現状維持	現状維持
	d 軽油使用量の削減	ℓ	45,891	45,846以下 0.10%	44,598	○	現状維持	現状維持
	e LPG使用量の削減	kg	98.7	98.6以下 0.10%	76.3	○	現状維持	現状維持
2	総排水量の削減	m ³	830	829以下 1.00%	829	○	現状維持	現状維持
3	廃棄物排出量(自社分)の削減	t	2.2	2.2以下 0.10%	2.1	○	現状維持	現状維持
4	分別作業での適正分別の推進		適正	適正	適正	○	適正	適正
5	廃棄物の収集運搬に伴う環境配慮		行動目標					
6	グリーン購入の推進	代替品目数	3	適宜	適宜	○	適宜	適宜
7	環境コミュニケーション		行動目標					

備考：二酸化炭素の排出係数はH27年度の中国電力0.700kg-CO₂/kWhを用いた。

4.環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

管理責任者	担当者
 豊原	 豊原
平成30年5月31日	平成30年5月31日

活動:○よくできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取組目標	活動項目	取組結果	評価、次年度の取組内容	
1.二酸化炭素総排出量の削減				
電力使用量の削減	1 エアコンの温度設定、夏28℃・冬20℃	△	・目標値は達成できたが、エアコンの温度設定ができていない時もあった。次年度も意識を高めて継続していく。	
	2 消灯の徹底	△		
	3 クールビズ、ウォームビズ	○		
	4 長時間席を離れる時のパソコン電源off	△		
灯油使用量の削減	1 暖房温度の適正管理	○	・塵芥車を1台買い替えた。今後も検討していく。	
	1 エコドライブ	○		
ガソリン使用量の削減	2 アイドリングストップ	○		
	3 排ガス規制の車両を中・長期で買い替える	-		
	1 エコドライブ	○		
軽油使用量の削減	2 アイドリングストップ	○		
	3 排ガス規制の車両を中・長期で買い替える	○		
LPG使用量の削減	1 給湯器等の効率使用	○		
2.総排水量の削減				
節水活動	1 水を出しっぱなしにしない	○		目標値達成。次年度も継続。
	2 節水コマ導入	○		
3.廃棄物排出量の削減				
リサイクルの推進	1 コピー用紙の両面使用	○	・次年度も継続。	
	2 縮小してコピーし、コピー用紙の枚数を減らす	○		
	3 廃棄物の分別とリサイクル	○		
省資源	1 文書の電子化への取組	○	・DocuWorksやペーパーレスFAX受信を導入。	
4.分別作業での適正分別の推進				
適正分別の推進	1 排出事業者責任の徹底	○	次年度も継続。	
	2 排出事業者自らのゴミの減量・リサイクルの取組	○		
5.廃棄物の収集運搬に伴う環境配慮				
社用車の切り替え	ハイブリット車や低燃費車、低排出ガス認定車等の切替を考慮	○	・塵芥車を1台買い替え。今後も検討。 ・ドライブレコーダーの設置。次年度も継続。	
車両使用の配慮	1 エコドライブ	○		
		2 日常・定期点検の実施	○	
収集運搬の配慮	1 積み忘れをしない	○	・収集した数を記録するなど、積み忘れ防止に努めた。今後も継続。	
	2 走行距離の短縮化	○		
	3 汚した場合の清掃徹底	○		
6.グリーン購入				
グリーン購入	1 トイレトペーパーを再生紙に切り替え	○	次年度も継続。	
	2 事務用品を再生紙に切り替え	○		
7.環境コミュニケーション				
(外部)				
環境コミュニケーション	HPを活用し、事業活動等を随時公表する	○	・HPを作成した。今後も最新の情報を公表していく。	
地域奉仕活動等の参加	地域奉仕活動等に積極的に参加する	○	・次年度も継続。	
(内部)				
周知の徹底	随時、指導教育訓練記録を作成し、掲示する。	○	・指導内容を記録し、従業員に記名させることで周知の徹底をした。今後も継続。	

5.環境関連法規等の評価結果及び違反、訴訟等の有無

- ・自己チェックの結果、違反はありませんでした。
- ・関係当局からの違反の指摘及び訴訟は過去5年間ありませんでした。

6.全体の評価と見直しの結果

社員の環境保全意識の高まりもあり、全ての目標値を達成できたことは大変素晴らしい。これまで改善活動を実施したことにより、更なる数値目標は、達成が困難な状況にあるため、現状維持を監視測定することにする。

本年度より、環境コミュニケーションを高めるため、新たな取り組みとして我が社のホームページを作成。『見える化』をすることで、社会貢献や環境に配慮した取り組みを、外部の方に知ってもらい第一歩になればと思う。地域活動においても、引続き積極的に参加し、環境改善につなげていきたい。